

保育計画成果報告書

法人名等	学校法人 河野学園
施設名	皆春あけぼのこども園
報告者（役職）	塩月 洋二（園長）
住所・連絡先	大分県大分市大字皆春383-3
	☎ 097-578-6668
	E-mail mail@minaharuakebono.com

○タイトル（保育計画）

「遊ぶ・学ぶ・体験がこどもの栄養源」子どもたちに いっぱいの 夢と感動を！

○主な助成備品

跳び箱、マット、ロイター板、トランポリン、靴箱

1. 保育計画策定の目的

当園では、子どもたちが健やかに成長していくには、「あそび」を通じた人格形成が幼少期には必要であるとの認識のもと、様々な体験活動を保育に取り入れている。また、「あそび」の延長線上で無理のない教育的カリキュラムを実施している。

具体的には、「積木あそび」、「英語あそび」、「体育あそび」をそれぞれ月に2～4回実施しており、集団でのあそびの中で自ら考え、創り出し、協力し合い、主体的に活動する意識を育てている。また、それぞれの「あそび」の基本は年齢に応じた内容にしているが、当園では縦割り保育を進めており、子どもたちの間で上の子が下の子を思いやる姿が見られるなど、単なる習得だけでなく人格形成の面でも成果が表れている。

今回、これらの活動をさらに発展させていく中で、特に「体育あそび」に必要な用具が不足していることから、関係備品の整備・充実を図ることとした。

また、園庭に出る際の靴置き場が不足し、既存の靴箱も古かったので、新しい靴箱の設置により保育環境の整備を図ることとした。

2. 具体的な実施内容

- ・跳び箱、マット、ロイター板

「体育あそび」におけるプログラムの一環として活用している。跳び箱は5段組になっているので、既存の跳び箱（3段）、マットとの2系列でレベルに応じた使用方法で実施している。ロイター板については跳ねるタイミングや勢いなどを体で覚えさせるため適宜使用している。



・トランポリン

2メートル四方の大きさがあり、保育室に配置して「体育あそび」や土曜保育において活用している

体幹を鍛えること、ジャンプが縄跳びの練習にもなることから、2か所ある手すりに手を添えて園児が交代で飛び跳ねるなどしている。



・靴箱

2階の部屋で活動する園児（2～5歳児）は外階段を利用して園庭に出るので、集中を避けるため1・2階に分けて靴箱を設置した。2・3歳児は2階に、4・5歳児は1階に設置している。



3. その成果と評価

跳び箱に関する用具については、これまで跳び箱とマットの一式のみで、しかも跳び箱の高さは3段組であった。このため5歳児にとっては物足りない面があったが、新たに5段組を購入したことで用途が広がり、レベルに応じた体育ができるようになった。また、ロイター板を活用することで大きなジャンプが可能になり、これまでうまく飛べなかった子が飛べるようになった。飛べるようになったことが子ども達の自信にもつながっている。

トランポリンについては、ジャンプするタイミングを身につけることで、体育のプログラムにある縄跳びの訓練になると考えている。また、子ども達の体幹を鍛える訓練にも役立つとされているので、今後ともうまく活用していきたいと考えている。

靴箱については、1階、2階に靴置き場を分けたことで階段が込み合うことがなくなり、避難訓練などでもスムーズに移動できるようになった。

4. 今後の課題と展望

幼児期に体を動かし多くの「あそび」を経験することは、心身の健全な発達にとって大変重要なことと考えている。また、一定の運動能力を身につけることは、子ども達にとって大きな自信になるものと考えている。

当園では、「あそび」を通じた人格形成、心身の成長に努めているが、これからも子ども達の発達段階に応じた無理のない体育あそび、体験を通して、子どもの成長を育んでいきたいと考えている。また、子ども達の学ぶことへの意欲の形成にもつなげていきたいと考えている。

以上